

道路維持管理の支援ツール「みちログ」

アイシン



アイシンはカーナビ開発で培った位置情報活用技術やAI解析技術を応用し、効率的な路面異常検知と補修状況管理を実現するDXクラウドサービス「みちログ」を開発した。日本の社会インフラは高度経済成長期に整備されたものが多く、笹子トンネル崩落事故や埼玉県の水道管破損による道路陥没事故など、老朽

化に伴う事故も起きている。地方自治体が管理する道路は、網羅的な点検や迅速な補修が求められているものの、即時対応ができていない実情があることなどが開発のきっかけとなった。

現地調査などの課題から、車載AIカメラによる異常検知と管理者がその情報を基に路面補修を行う道路巡視・路面性状

管理支援システムとSNS通報やパトロール中に発見した異常をクラウド上で一元管理し、業務管理の効率化を支援するシステムを主なサービスとすることを決定。システムを運用しやすくするためにUIの改善にも着手した。現在は10自治体で正

位置情報やAI活用で路面異常を検知



式導入、試行導入を含め40以上の自治体での活用が進む。

25年には磐田市、衛星ベンチャー・天地人、遠鉄タクシーと連携し、衛星データと車載カメラデータの統合解析による水道管破損リスク分析を始め、など社会課題の解決に向け取り組みを加速させている。

【受賞者コメント】この度は、道路維持管理を支援する「みちログ」の取り組みを評価頂き、モビリティソリューション賞を賜り誠に光栄に存じます。関係者の皆様と心より感謝申し上げます。生活の基盤となる道路や上下水道において、老朽化に伴う事故リスクが高まる中、管理業務効率化の重要性が一層高まっております。各地域の交通事業者様を始め、他業界の皆様との連携をこれまで以上に進め安全・安心な移動環境の実現に向けて活動を続けてまいります。